

お正月のお飾りづくり

3組 和氣良江

去る12月16日、恒例となった「御南地区社会福祉協議会」事業の一つであるお飾りづくりが、御南小学校の多目的広場で行われました。例年にも増



す多くの参加者が、7～8人のグループになって「どうじゃったかな。これでいいかな」と、隣同士で言葉を掛け合い、手伝いながら大小のお飾りをそれぞれ作り上げていきました。

お飾りの材料となる藁は、5月に初蒔きをして6月に田植え、穂が出る前の7月に刈り取り、天候を見て天日で乾燥させ保管します。ところが、今年は台風に見舞われ、葉先が風ですれて痛み、茶色になってしまいました。腹も立ちますが、これも仕方ありません。汚いところは残して他の稲で間に合わせることにしました。また、お飾りの先に付ける稲穂は、9月中旬頃、穂先が垂れ下がらないうちに刈り取り、乾燥させ、小さな束を作っておきます。また12月初めには、先に付ける花作りをします。金糸と上敷きの止め釘の頭に赤のスプレーをかけ、染めて作りました。タライにグリーンの水を作り、藁を入れて焚き引き上げて、天日で干しました。今年もとてもきれいな緑の藁ができました。これも皆さんのお手伝いのお陰で、何とか準備ができました。

お飾りづくり当日は、今まで作ったこともない。縄をなつたこともない人もおり、悪戦苦闘しながら形を整え、最後に穂先と水引を先に付け、前に花を挿すと見事に出来上がり、お正月が来たという気持ちになりました。みんなで賑やかな楽しい一時を過ごすことができました。



ささやかな挑戦

7組 小原正行

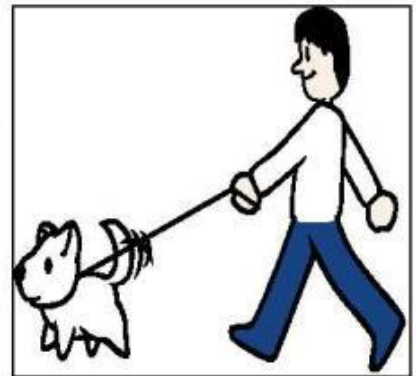
聞くところによると、健康保険の取り扱いが変わるらしく、65歳から高齢者とされているが、75歳を境に前を前期高齢者、後を後期高齢者と言うようになるのか……内容についてはかなり厳しいものになるようだ。

行政も高齢者の診療報酬の膨張に頭を痛めているようで、高齢者の一員としてただ傍観しているわけにもいかない気がする昨今である。

私事ながら、小生も医者通いをしている一人として、健康維持のために何かをしなければと、思い巡らしてみるのが良い思案は出てこない、ややもすれば横着の虫が顔を覗かせる。

何を始めるにしろ、まずは長続きできること、そして性急に結果を求めないことに思い至る。

昨年まで我が家にも犬が居て、雨の日以外は毎日朝と夕方一日2回散歩を欠かしたことはなかった。小型犬であったため、歩く距離



は短いが四季折々の風を感じながらのそれは、とても心地よいものであり永遠に続くように思われた。

14年に及ぶこれらのことは、犬が亡くなったその日から、まるで喪に服してでもいるかの様に、歩くことをしなくなった。

今思えば、犬の散歩と言いながら自分一人では続けられない歩くことへの言い訳？であったのかも知れない。

一周忌も過ぎたことだし、またまた歩くことに挑戦しよう。腕の振りがどうの、足は踵から着地してなどと型にこだわらず、まずは気楽に、そして継続することを心に刻みながら……